

にしとも広場

2018

11号

共に暮らすまち

～地域で生き生きイキメン's Life～



“イキメン”とは、
地域での活動を
生き生きと
楽しんでいる男性の
総称です。



「家事シェア」「子育てモヨウ替え」

家族と向き合う事で、
自分の居場所が面白くなる！



特定非営利法人 tadaima!

代表理事 三木 智有さん

ただいま

「tadaima!」が言えるのは、
出掛ける場所と帰る場所、
両方があるから

「家事シェア研究家」、「子育てモヨウ替えのコンサルタント」三木さんの名刺に並んでいる言葉は面白い。NPO 法人 tadaima! 代表理事である三木さんは、もともとフリーのインテリアコーディネーターでした。

「tadaima!」は、出掛ける場所と帰る場所、両方があるから言える言葉。そして、待っていてくれる大切な人と交わす言葉でもあります。小学校の頃、学校に「居場所」を感じられなかった三木さんは、自分が作ったご飯を喜んで食べてくれたお母さんの姿にとっても救われた経験から「家族との関係性」の大切さを伝えたいと考えました。

居心地の決めでは、
「オーナーシップ!」
家事も育児も家族と
主体的にかかわること

コーディネートの相談を受ける中で「自分の家なのに居心地が悪そうな男性が多い」と気が付き、100組以上のご夫婦にヒアリングを行ってみました。すると男性は、お金は出すけど、内容はママに任せている人が多いことがわかりました。そういえばインテリアコーディネート相談の多くはママがメインです。

三木さん曰く、「“ママの好きにしていよいよ”は一見優しそうだけど、実は人任せなんですよ。人は、その場所での関りや役割があって居場所と感ずるもの。家庭も同じで、全てをママ任せでカスタマイズしてしまうと、“きっとママがやってくれる!”という流れになって、ママ一人が大変になってしまう。



講座では、実際の間取りや家具の配置を通して、
その家に合った暮らしを考えます。



夫婦で話し合っ、家族みんなが家事に参加しやすいようにモヨウ替え。

家事を“手伝う”ではなく、“自分のコト”としてシェアする。わかち合うとオーナーシップが生まれ、自分らしい工夫や楽しみ、家族との一体感が生まれます。」

家族は一番小さな社会 ちゃんと向き合う経験は きっと役に立つ

「家事シェア」や「子育てモヨウ替え」を考えることは、数年後の家族の未来を見据えて、パパとママが向き合う時間を作る作業。

だから三木さんの講座の多くは夫婦一緒にの参加型。コーディネートの依頼も、ご夫婦で相談に来て

欲しいあまり、コーディネート料の“夫婦割”まで始めてしまいましたと笑います。

生活をしている内にお互いを解ったつもりになって、気持ちのズレが生まれる時があります。特に男の人はズレていることに気づきにくく、何か事が起きて、初めて家族との距離に愕然とする人も多いそうです。

三木さんは、家のモヨウ替えを機会に、これからどんな風に暮らしていきたいか話し合ってみることを勧めています。「子どもの成長を中心に考えるとわかりやすいですよ。成長には幼稚園、小学校など数年ごとの節目があって、具体的に考えやすい。男性はゴールが見えるスパンで答えを見つけるのが得意です。」と。そして、「お互いのズレが大きくないうちに向き合っ、これから楽しく暮らしていく家を見ると、みんなの居場所がある家になります。」と話してくれました。

三木さんに、家以外の居場所について尋ねた時、“出入り自由な場所”という答えが返ってきました。「居心地のいい場所を、何度探してもいいと思う。仕事も、趣味の場も、一度でぴったりの場が見つかるに越した事はないけれど、苦しいなら別を探す選択肢もある。ただ、そんな時も温かく安心できる“家”という居場所があれば、疲れた心を充電して次に進めるはず。」と。



三木 智有（みき ともあり）さん

東京都在住

「ただいま」って帰りたくなる家庭＝家族が協力し合い、創る、居心地のいい家庭。そんな家庭が増えるよう、日々活動しています。

特定非営利法人 tadaima : <http://npotadaima.com>
(活動内容やお問い合わせはホームページから)



「子育ては地域へのパスポート！」

パパを楽しんでいたら、
いろんなつながりが見えてきた！

横浜ダディ 北田 禅さん



横浜ダディは、パパ同士がゆるく・ながくつながれる場。新しいメンバーも気楽に楽しめることを大切にしている。

はじめての子育て！ ママつながりでない、 パパ友の存在

高校までを海外で過ごした北田さんは、家族との時間を大切に、ボランティア活動にも積極的に取り組むご両親を見ながら育ちました。結婚を機に横浜で暮らし始め、横浜市主催のイクメンスクールに参加したことをきっかけに、スクールの2期生、3期生のパパたちと「横浜ダディ」を結成しました。

パパたちの中には、子育ても地域にも関わりたいという思いはあるけれど、どうしていいかわからなくて、一步を踏み出せずにいる人も多くいます。そんなパパたちと初めての子育てを楽しむために、ママ友からつながる関係でない、自分自身が作るつながりが欲しくて結成した会ですが、友だちが増え、地域との関わりも深まり、北田さんは、横浜を自分の地元と感じる気持ちが強くなっていったそうです。

ゆる～いつながりが作る、 落ち着ける居場所

「横浜ダディ」は、ゆる～いつながりを大事にしている、ビールを飲みながら好きな話を話せる場です。心がけているのは、「何でもいいから話そう！」ではなく、「これってどう思う？」ととにかくしらのテーマを投げかけること。回を重ねる中で、男性は漠然とした会話よりもテーマがある方が話しやすく、居心地がいいことに気がついたからです。

「ママ」と同じで、「パパ」になるにも時間や経験が必要です。仕事の肩書きなどは関係なく、パパ同士として話す中で、その人なりの「パパ」を見つけていきます。北田さんは「家族を大切に思うからこそ、家庭以外でパパがつながる場所が必要。子育ての不安や失敗も、同じパパという立場だから共有できる。これってとても大切な事なんです。」と話してくれました。



パパボランティアで結成した「育児レンジャー」(写真:上)や、「巨大そうめんながし」(写真:下)自分たちが楽しむことが大事。

子どもに関する 情報交換から生まれた、 地域への親近感

北田さんにはいろいろな顔があります。全日本育児普及協会副会長、育児パパサークル 横浜ダディ代表、幼稚園 お父さんの会会長、小学校 おやじの会副会長…。

「まあ、好きだからやっているんですけどね。無理して広げたわけではなく、子どもの成長と共に増えていって。」と笑顔で話します。活動を通して親しくなったパパ友から、自治会や防災など地域についての情報をもらう事も多く、地域の取り組みについて知る機会が増えたことで、自然に自分の地域への親近感が強くなったそうです。北田さんは言います「地域活動もいきなり入るのは難しいけれど、子どもの行事についていけば、スムーズに関われる。家庭とは違う子どもの姿を知ることができるし、自分のつながりも広がっていく。つまり、子育ては“地域へのパスポート”。使わない手はないですね。」と。

お知らせ

2018年5月12日(土)開催! 地域で生き生き“イクメン”講座

パパ同士だから話せる事がきっとある。

パパサークル横浜ダディを運営する北田 禅さんと一緒に、子育てやパパ友づくりのヒントを見つけませんか。

時 間 10:00 ~ 12:00

対 象 西区在住・在勤の方

会 場 にしとも広場

申込・詳細は、にしとも広場までお問合せください。

北田 禅(きただ ゆづる)さん

妻・長男と3人暮らし

横浜市生まれ

小3~高校卒業までの10年間NYで暮らす。

初めての育児活動は13歳の時、ベビーシッターとして離乳食・おむつ替え・寝かし付けを経験。

仕事は人材系ビジネスの営業マン

日本育児普及協会: <http://ikujifukyu.com/>

(講演依頼やお問い合わせは日本育児普及協会ホームページから)

facebook 横浜ダディ【パパサークル】



イキメツのすすめ!



「自分の住んでいる地域にまずは目を向けてみること!遠くに行かなくても、自分の居場所や役割は、近くにある。」と語る三宅和夫さん。

『ばあばの家あさだ』で、鍵開け当番を担い、イベントでは“絵本の読み聞かせ”を披露。地域の中で生き生きと交流され、子どもからママさんまで“カッコイイーじいじ”と親しまれている三宅さんに、地域で活動する楽しさについて伺いました。



11月16日に開催された「小さな文化祭@ばあばの家」で、絵本の読み聞かせをする三宅和夫さん(左)。『ばあばの家』では、子どもからお年寄りまで、多世代の方々との交流があります。

書く側から読む側へ

NHKの放送記者としてサラリーマン時代を過ごしました。1日に取材する人数は20~30人。色々な人の話を聞いて、世代や性別を越えた様々な生き方を教えてもらいました。

リタイア後も人と出会う機会を得たいと、地域の会合や講座に参加しました。そこで、目に留まったのが“男性向けの読み聞かせを学ぶ連続講座”。「こういう講座に参加する男性はどんな人たちなんだろう?という興味から参加してみました(笑)。」

講座終了後は、同期で交流会をしたり、読み聞かせの依頼で出かけることもありました。絵本の読み聞かせでは、主催者が選んだ絵本を読むこと

がほとんどです。読む前の準備として、なぜこの本を選ばれたのか、理由を丁寧に聞くようにしています。

本番当日は、絵本を読み始める前に、一言二言お話をします。「切り出し方がとても大事です。そこで笑いが取れたら大成功。場が一体化し、絵本の世界に自然に入っていくことができます。」

リタイア後の男性の居場所とは

『ばあばの家』では、毎週月曜日に鍵を開ける役割です。10時に行き、13時30分で次の方に交代します。妻の義子さんに頼まれて当番を始めたのがきっかけで、7年続けています。『ばあばの家』

には色々な方が来ます。その様子を見ているのも楽しい。居心地がよくて、何か自分の気持ちが落ち着きます。」

そんな『ばあばの家』で男性はほとんど見かけません。みなさんどこにいるのか不思議に思っていました。本を借りようと図書館に行ったら、高齢の男性が多いことに気が付きました。誰もが黙々と本を読んでいて、自分の世界に閉じこもっている感じがしました。

「地域を嫌う男性は結構多くて、わざわざ電車やバスに乗って、遠くの講座を受けに行く人もいるが、結局長続きしない。自分の住んでいる地域にまずは目を向けて、会合や講座に参加してみることに。全てが良かったなんてことはないけれど、足元で自分に合う場所・モノを探してみることが大事。」

80歳を越えてからは、引き際を大切にしながら、地域の中でも、家族の中でも、無理をせず自分ができることは何か、考えています。

ばあばの家あさだ

利用される方たちが、おしゃべりしたり、お料理したり、趣味を生かした活動をしたり、それぞれの想いを表現できる自由な場所です。

人と人のつながりを豊かにし、地域を丸ごと元気にしていきたいという想いから運営されています。

<http://www.guppii.jp/publics/index/23/>
横浜市西区境之谷 30-6

TEL 045-341-4248

FAX 045-341-4249

最新情報は、facebook → 【ばあばの家 あさだ】



三宅さんにとって、妻の義子さんは、地域活動の大先輩。精神障がいのある方々の理解や交流を目的とした活動の代表も務めています。「義子さんには一目も二目も置いています。人を引き付ける力があるし、相手に安心感を与える。だから困ったことがあるとみんな相談するのかな。」

お知らせ

2018年4月24日(火)開催! 地域で生き生き“イキメン”講座

こんな方におススメ!

- ☒ リタイア後に地域で活動したい
- ☒ 地域の情報、施設を知りたい
- ☒ イキメンと交流したい

“イキメン”に興味ある方・なりたい方、はじめての一步として、この講座に参加しませんか?

プログラム イキメンのすすめ! パネルトーク
区内施設見学&ランチ交流会

時間 10:00 ~ 15:00

対象 西区在住・在勤の男性

集合場所 にしとも広場

申込・詳細は、にしとも広場までお問合せください。

にしく市民活動支援センター“にしとも広場”は、 『何かはじめたい!』を応援します!!

ボランティアや地域での活動をはじめたい人、地域とつながりたい人、住んでいる地域の情報が欲しい人など、どなたでもお気軽にご利用ください!

- 近隣のイベント・団体情報から、講座・助成金情報まで、常時 400 種類のチラシがあります。
- じっくりとお話をお聞きして、一緒に活動をお探します。ゆっくり見つけていきましょう!

にしとも広場の使い方

にしとも広場で、講座やワークショップを開催しませんか？

全館貸し切りも可能。収容人数は最大 40 名ほどです。

ステップ 1 企画・アイデアを“にしとも広場”に相談

ステップ 2 「ミーティングスペース利用申込書」を提出

ステップ 3 イベントのチラシ作成・広報

お手伝い
します！



今年度開催されたワークショップ・講座の写真をご紹介します！

10月12日開催
「太極拳ゆったり体操」



7月16日開催
「つまみ細工の髪飾り」

“にしとも広場”まで、お気軽にお問合せください。

TEL：045-620-6624



編集後記

「共に暮らすまち」をテーマに取材を進めるうちに、お話を伺った方はどなたも自然体で活動し、ご家族を大切にされている共通点を見つけました。確かに「家庭」も「地域」も大切な人と暮らしていく「場」。居心地のよい距離で、自分らしくつながればよいですね。

何かを始めたいと思う春、にしとも広場に来て見ませんか？たくさんの活動やイベント情報があなたを待っています。

にしとも広場12号は、
7月発行予定です。
お楽しみに！



にしとも広場は、
土・日曜日、祝日も
開館しています
(水曜日休館)

“にしとも広場”ってどんなところ？

にしく市民活動支援センター“にしとも広場”は、人と活動のつながりづくりを応援する場です。

「何か始めたい」「活動の場を広げたい」「活動に役立つ情報を知りたい」といったご相談をお待ちしています。ぜひ一度お立ち寄りください。



にしく市民活動支援センター
にしとも広場

管理運営：認定NPO法人市民セクターよこはま

TEL/FAX：045-620-6624

【Eメール】 ni-shiencenter@star.ocn.ne.jp

【ホームページ】 <http://www.nishitomo.city.yokohama.lg.jp/>

【住所】 横浜市西区中央1-5-10 西区役所1階

【開館時間】 9:00～17:00

休館日：毎週水曜日・年末年始（12/29～1/3）

【アクセス】 京浜急行「戸部駅」徒歩 8 分
相模鉄道「平沼橋駅」徒歩 10 分

